

多職種連携研修会 R4.9.26(月) グループワーク記録用紙

1. 職場の中でコロナで困ったこと（介護の状況、スタッフの状況等…）

- ・困ったことの事例としては、(ご利用者家族様の)帰省がコロナ禍の影響で出来なくなった事。その中における支援はケアマネジメントで繋いだ。
- ・退院支援に関っている。家族様が県外の場合支援が中々受けれない。更にコロナ禍で面会制限となっている事が、入院期間中のADLの変容の情報提供において家族様の(情報の)受け止めにギャップが出るといった弊害になっており、家族様の退院受け入れに追いつかないといったケースがコロナ禍以前より多くなっている。また、骨折で入院されている方が入院中コロナになり、これにより転院時の受け入れ先が見つからないケースもあった。
- ・通所リハビリ時の検温、消毒の頻度が増え、業務負担となっている。また、発熱の際はコロナ陽性でなくても致し方なく休んで頂くといったケースが増えてきており、安定したご利用の継続が困難になってきている。また、通所全体では年間行事の減少となっており、ご利用者の利用制限に直接繋がっている。
- ・7月にご利用者様、職員含め複数名のコロナ陽性者発生の事態にて、施設内療養を行った。隔離の利用者様に対しては職種間連携を図りマニュアルに添いケアにあたったが、限られた職員数の中陽性の職員も数名おり、隔離部屋対応等の特殊な業務への人員采配が困難となった。日頃より、感染時対応の重要性を痛感した。

→以上、それぞれの分野で報告を受けたが、高齢者に対し活動の制限の中において、またQOL保持の視点を持ちながら対応せざるを得ない状況において職員、ご利用者双方にとって肉体的精神的にも負担となったことが挙げられるが、この状況の中、適切な介護、ケアが出来ているかなど考えさせられる機会でもあった。

2. こういう備えをしておけば良かったと思ったこと、足りなかったもの

- ・この状況下、プライベートも含め、行動制限など備えを十分行っている中、回答困難な設問であると感じる。個々としての備えは一先ず置き、(職場)全体の備えなどなかったか。
- ・回答困難な設問であると思う。自分自身もこの設問の回答は正直思い浮かばない。
- ・設問の意図とはやや外れる回答であると思うが、こういう状況下であるからこそ、日頃より家族様との信頼関係ができていれば、コロナ蔓延防止に係った急なサービス提供の中止時など、ご理解に繋がりがやすいのではないかと感じた。
- ・当方有料老人ホームの併設のデイサービスセンターであり、業務形態上外部からの出入りもある為不可抗力としての感染リスクは出てくる。ご入居者及び家族様にとっては不安の中ご利用いただいている。だからこそ日頃の信頼関係の構築は必要だと感じた。また、限られた人数で隔離対応を行ったが、スムーズな対応の技術面において日頃の想定した訓練が不十分だった事を痛感した。感染症対応の訓練を備えとして行っているべきであった。
- ・介護であり医療でありご家族のご指摘を受ける事もあるかと思う。コロナ禍における対応上でも(面会謝絶の理解を求める説明時など)ご指摘を頂く場面も多々あったと感じる。日ごろの信頼関係の構築の有無が対応時における

ご家族の理解に影響してくるのではないか。

3. 今、私たちができること、すべきこと

・感染予防の為に不要不急の外出を避けるなど一般論として定着はしている折ではあるが、コロナの収束の見通しは立っていない状況。ウイズコロナに於いてどう向き合っていくか、今回の「医療福祉の研修会」の意義を踏まえ多職種の視点での意見をもらいたい。わたくし自身もコロナ禍において精神的ストレスを負ったと感じる。実際精神面の負担より仕事を離れた職員もいる中感じた事は、スタッフのストレス軽減、気分転換の場をいかに提供していくかであり、今後も考えていく命題だと思う。

・前述した、コロナ禍とこれに伴う対応が入院期間中のADLの変容の情報提供において家族様の(情報の)受け止めにギャップが出るといった弊害になっている事に関し、わたくしたち看護師にできる事は、普段直接家族様が患者様の様子を見に来れないからこそ、電話での情報伝達時や退院時の荷物受け渡し時など、この限られた時間においていかに密に関わりを持ち信頼関係を構築できるかが大切だと感じる。

・コロナ予防接種を受けられた後に体調を崩されたご利用者もおられた。コロナ陽性にて長期休まれている方の健康状態の把握は当然必要であるが、コロナ予防接種後の健康状態把握や体調管理においてかかりつけ医への受診の進言や担当他職種への情報提供など必要であると感じる。

・コロナ禍において職員の精神的ストレスは管理者の立場、視点から日頃より感じ取っている。ウイズコロナは致し方ない事であり、有事の際など、管理者としてスタッフに不安を与えず対応できるよう自分自身が技術面知識面におけるスキルアップの重要性を感じた。また日ごろからの家族様との信頼の構築、そしてその信頼の中での情報提供の重要性を、実際コロナ陽性に伴う対応を経て認識した。